



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和5年10月2日(月) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
環境生活政策課	生物多様性企画監	細野達也	内線 2920 直通 058-272-8231 FAX 058-278-2605

令和5年度 ^{けんか}堅果（ドングリ）類の豊凶予測調査結果 及びクマ出没への影響について

岐阜県内に生息するツキノワグマ（以下「クマ」という。）は、例年9月から10月にかけて人里周辺での出没が増加する傾向にあり、人身被害の発生が懸念されています。特に、秋季のクマの主な餌であるブナ、ミズナラ、コナラの堅果（ドングリ）類の豊凶がクマの出没に影響を与えることから、県内5圏域、26地点の指標木（1地点あたり10本）の豊凶予測調査を実施しましたので、下記のとおり結果をお知らせします。

なお、調査結果は県公式ホームページへ掲載するとともに市町村と情報共有を図り、注意喚起を行います。

記

1 豊凶予測調査の結果（※県内全域の平均。地域ごとの調査結果は別紙参照）

ブナ 凶作（大凶作～凶作までばらつき有り）

ミズナラ 凶作（凶作～並作までばらつき有り）

コナラ 並作（凶作～豊作までばらつき有り）

※作柄は、大凶作、凶作、並作、豊作、大豊作の5段階区分

2 クマ出没への影響（地域ごとの調査結果は別紙参照）

○県内全域において注意が必要

ブナ、ミズナラが「凶作」、コナラが「並作」という予測結果になりました。全体的に凶作の傾向が見られるため、クマの生活圏に近い里山近辺では、クマの出没に注意が必要です。

3 クマの被害にあわないための対応策

(1) 鈴などで音を出して人の存在をクマに気付かせる

- ・堅果類の結実は場所によってばらつきがありますが、クマは餌を求めて移動しますので、山林に入る際や、山林沿いの農地に近づく際には、十分な注意が必要です。
- ・県ホームページでクマの目撃情報（クママップ）を確認いただくとともに、クマと出会わないために、鈴やラジオなど音の出るものを携行しましょう。
- ・クマを目撃した場合は、近づくことなく、慌てずそっと立ち去りましょう。

※クママップをご覧ください。

<https://gis-gifu.jp/gifu/Map?mid=10538&mpx=137.34617827817775&mpy=36.16092613370731&mps=200000&mtp=dm&gpr:j=3>

(2) クマの餌となるものを除去して人家周辺や農地に引き寄せない

- ・クマの餌となる、果樹等（カキ・クリ等）は残さず収穫しましょう。
- ・生ゴミや収穫残渣（収穫後の茎葉、収穫に適さない農作物等）を田畑に残さないようにしましょう。
- ・イノシン等の被害防止捕獲のために設置する「箱わな」の撒き餌の種類や、わなの設置場所に十分注意しましょう。
- ・クマの隠れ家や通り道とならないよう藪などは刈り取りましょう。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/4964.html>

4 その他

- ・クマの目撃情報は、お近くの市町村、岐阜地域環境室又は県事務所環境課へご連絡ください。
- ・中部森林管理局による県内国有林の調査結果は以下に公表されます。

<https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/koho/press/index.html>